



## 小さな喜びを胸に

校長 西田和弘

3学期がスタートしてもう1か月が過ぎようとしています。3学期は子どもたちや教職員にとってまとめ・ふりかえり・総括の時期になります。自分自身をしっかりとふりかえり来年度にむけて計画的にそして主体的に行動ができるように、年度内でのまとめ・ふりかえり・総括をしっかりと行っていきたいと思います。

さて、私事になりますが、自分の不注意で10月末にケガをしてしまい2ヶ月の入院と自宅加療をあわせ長期間休ませていただくことになりました。子どもたち、保護者のみなさまをはじめ、地域の方々、教職員の皆様にはご心配とご迷惑をおかけいたしました。お詫びを申し上げます。本当に申し訳ありませんでした。

入院期間中、ベットから動けない状態から、自分で寝返りができた、車いすに自分で移動することができた、トイレに一人で行くことができたなど、毎日少しずつ小さな喜びとできることが増えていきました。一方で、職場復帰できるのだろうか、今までのように歩くことができるのだろうか等の不安もあり、この小さな喜びと不安との葛藤が日々続いていました。

1月14日に職場復帰をして、生徒集会で子どもたちの前に立つことができました。私のケガを子どもたちは知っていましたが、ケガをしたときの様子を伝えときは、まっすぐに私へ視線を向けてくれ、話を聞いてくれる姿がありました。最近では、松葉杖で校内を移動していると、生徒から「校長先生！大丈夫ですか？」と声をかけてもらい元気をもらっています。

「ものは考え方次第」と言われますが、私は今回の経験と通して本当にそうだなと実感することができました。いわゆる、ポジティブシンキングの考え方です。「今までより少し時間はかかるけれど、自分で行きたいところに行ける」「手足に不自由は残るけど、物事を考えることは今までと変わりなくできる」などの小さな喜びを素直にとらえることができ、ポジティブになれるようになれました。

3年生のみなさん！もうすぐ私学入試が始まります。みなさんに伝えたいことが二つあります。一つ目は、「適度な緊張は自分の能力を高める」ということです。緊張やプレッシャーと上手に付き合い自分の能力を高めてください。二つ目は、「これまでの努力から得られた小さな喜びとできることは、入試の時にみなさんの大きな力になる」ということです。以前はできなかった練習問題が2回目の挑戦でできるようになったときに感じた「できたぞ！」という小さな喜びがそれです。その小さな喜びは、自分自身に自信をもたらせます。そして、ポジティブに考えたり、自分の内面を見返すことは、緊張やプレッシャーと上手に付き合うことにつながります。この二つのことを心にとめて追い込みをがんばってください。

最後になりますが、各ご家庭におかれましては、子どもたちの体調管理にご協力をいただきますよう重ねてお願いいたします。

**Together!** 切磋琢磨 **MEIJIKE'** を合言葉に!

彩和学園 【めざす子ども像】

「今と未来、社会でいきる自分らしさを」～すすんで「挑戦」 つづける「継続」 つながる「共生」～